



特別支援教育とは?

新型コロナウイルス感染症の不安の中でしたが、令和2年4月6日に令和2年度のスタートを切ることができました。子どもたちのやる気と希望に満ちた笑顔に触れ、「この笑顔がさらに輝くように頑張るぞ。」と決意を新たにすることでした。

現在、本校では、各学級30人前後の子どもたちが学んでいます。子どもには、それぞれ「個性」があります。30人いれば、30通りの「個性」。一人一人違うからこそ「みんながかけがえのない存在」、それが「みんなちがって、みんないい」という考えです。

しかし、どの学校にも、その子のもつ個性により、学習面や行動面、生活面等で、「困り感」や「息苦しさ」を感じながら過ごしている子どもが6~7%いると言われています。

このような子どもに対し、「困り感」に寄り添いながら「工夫や支援」を施す教育、それが「特別支援教育」です。「特別支援教育」は、平成19年に学校教育法に位置付けられました。このことを踏まえ、通山小学校では、家庭との連携を図りながら、教材・教具・指導方法の工夫や複数態勢による指導、その子にあった学びの場の提供等、支援を必要とする子どもの実態に応じて様々な取組を行っています。

通山小学校「ひまわり学級」について

生活面や学習面などにおいて、「困り感」を抱えている子どもたちが、安心して生活・学習し、その子のよさを十分に発揮できる学びの場が、特別支援学級「ひまわり学級」です。「ひまわり学級」は、令和2年度から2学級になり、現在、5名の子どもたちが学んでいます。ひまわり学級で学ぶよさは、以下のとおりです。

- 少人数での指導のため、学習に集中しやすく、また、マンツーマンに近い形できめ細かな指導を進めることができます。
- 子どもの発達段階や教育的ニーズに応じて、柔軟に学習指導計画を立てることができます。
- それにより、その子に合ったスピードや学習内容・方法で指導できるので、より高い学習効果が期待できます。
- 「生活単元」や「自立活動」などの学習もあり、さまざまな体験をさせたり、ソーシャルスキル（社会性）を身に付けさせたりします。
- 子どもの状況により、例えば、国語や算数は、「ひまわり」で学習し、他の教科や学校行事、給食等は、同学年の友達と一緒に活動できます。

このように、「ひまわり学級」で学ぶよさはたくさんあります。「ひまわり学級」の子どもたちは、自分に合った内容とペースでじっくりと教科の学習を頑張り、また、多様な体験活動



に生き生きと取り組みながら、一步一步着実に成長しています。

そして、ひまわり学級で一生懸命学習している友達を周りの友達が応援してくれていることも素晴らしいと思います。頑張っていることを素直な気持ちで「すごいなあ」と認めたり、困っているときには優しく声をかけたりしています。そんな場面を見ると、とても温かい気持ちになります。ひまわり学級は、そこで学ぶ子どもたちはもちろん、周りの子供たちも共に成長させてくれる素敵な学級です。

「気付き」が支援の第一歩

特別支援教育は、まず、その子が感じている「生活面や学習面での困難さ（困り感）」に、私たち大人が気付いてあげることから始まります。「気付き」が支援の第一歩です。

お子さんの行動面、生活面、学習面等で何か気になることがありましたら、遠慮なく、担任や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。また、担任から家庭に教育相談をお願いすることもあるかもしれません。特別支援教育推進には、学校と家庭の連携が不可欠です。ご家庭と積極的に連携をとっていきたいと考えています。

相談したいことがおありでしたら、いつでもご連絡ください。



お子さんがこんなことで困っていませんか?

- 一斉学習の中では十分に力が発揮できず、少人数の中で、自分に合ったペースや方法でじっくり学習できる環境だと、より力を発揮できる。
- 他者とコミュニケーションをとりづらく、自分の思いをなかなかうまく相手に伝えられないために、友達とトラブルになることがある。
- 自分が思うようにならないといらいらしてしまう。急に予定が変わると、パニックになったり、行動が止まったりしてしまう。
- ある特定の教科や学習内容の理解が難しい。
(例:計算は得意なのに、漢字がなかなか覚えられない。)
- 同じ失敗を繰り返してしまう。いけないと分かっていることを、ついやってしまう。(例:石を投げていけないと分かっているのに、つい投げてしまう。)
- 集中力が持続せずに、興味があることにすぐ目が向いてしまい、なかなか学習に集中できない。(例:手遊びが多い。授業中に突然離席する等。)

お子さんの「困り感」の状況、ご家庭の考えを踏まえ、お子さんにあった支援方法（学級内での支援、TTによる指導、個別による指導、特別支援学級での指導）等を担任や特別支援教育コーディネーターと一緒に考えていきます。学校から様々な支援方法を提案させていただきますが、あくまでもご家庭の考えや方針が尊重されます。

